

公立はこだて未来大学と新星マリン漁業協同組合および留萌市の三者が 水産業の振興および相互発展に関する協定を締結



写真左から:高橋定敏・留萌市長、中島秀之・本学理事長兼学長、今野隆・新星マリン漁業協同組合
代表理事副組合長(林博行代表理事組合長の代理として)

公立大学法人公立はこだて未来大学と新星マリン漁業協同組合および留萌市は、学術、教育および地域の振興発展に関する各分野において連携・協力し、持続可能な水産業の振興および三者の発展を図ることを目的として、平成22(2010)年5月21日、包括連携協定を締結いたしました。

当日は、本学より中島秀之理事長・学長、高橋修共同研究センター長のほか連携に関連する教職員が留萌市を訪れ、新星マリン漁業協同組合の林博行代表理事組合長(当日は代理で今野隆代表理事副組合長)、留萌市の高橋定敏市長、本学中島理事長・学長により調印式を行いました。

【背景と目的】

本学の和田雅昭准教授(※)は、平成16年度から文部科学省知的クラスター創成事業「札幌ITカロッツェリア構想」の研究分担者として、留萌で海底地形図取得の実験を行い、その後も留萌での実証研究を続けてきました。平成18年度からは、総務省や(独)科学技術振興機構(JST)のプロジェクトの研究分担者あるいは研究代表者として、IT(情報技術)を活用した水温や潮流などの海洋情報取得技術の開発に取り組み、GPS(全地球測位システム)を搭載した漁船から無線LANでナマコの漁獲量や漁獲地域のデータ入力ができるシステムを構築し、ナマコ漁の資源管理、効率的な操業支援の研究を進めてきました。

本学と留萌との長い連携をベースに、このたび三者協定を取り結ぶこととなり、実験漁

場の利用や調査研究の協力など、今後いっそう多方面で協力関係を拡充し、さらに研究を進めていくことを目指しています。

(※和田准教授は、平成 16 年当時株式会社東和電機製作所勤務。平成 17 年 1 月より本学教員として着任)

◇本協定による主な連携・協力の目的

- ・ 持続可能な水産業を振興するための情報技術の活用に関する調査研究の実施
- ・ 地域の水産業の将来を担う人材の育成
- ・ 産学官の連携による地域の振興

◇本学が協力を受ける具体的な内容

- ・ 研究に使用する傭船の手配、人的協力
- ・ 実験漁場の提供
- ・ 臨海実験所の提供



写真左：ナマコ漁での実証実験／写真右：包括連携協定調印式後に講演を行う和田准教授

【今後の展開について】

今後は、この包括連携協定をベースにさらに研究を進め、沿岸域に構築した無線 LAN 環境を活用して、リアルタイムでの操業状況の把握、遠隔による操業指導などを可能とし、日本だけではなく世界に発信することのできる操業モデルを立ち上げるとともに、研究活動を通して地域の振興にも貢献していく計画です。

本件のお問い合わせ先
公立大学法人 公立はこだて未来大学 共同研究センター
Eメール：center-ml@fun.ac.jp 電話 0138-34-6571(ダイヤルイン)